



市ホームページ「市長の部屋」へどうぞ。 <http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

おいしい鯨肉をどうぞー! 「らーじくん」もよろしくー

こ んにちは。市長の中尾友昭です。昨年、くじらと歴史的に深い関わりを持つ下関市と長門市が共同で作製したくじらシンボルマークの愛称を募集しました。その結果、老若男女全国すべての都道府県から1687人、2329点の応募がありました。8月6日に、長門市の大西市長との会談で選考・抽選を行い、くじらシンボルマークの愛称が埼玉県在住の山田祐美さんの応募作品「らーじくん」に決定しました。皆さん、「らーじくん」と呼んで仲良くしてください。

本 視採集船の「勇新丸」第二「勇新丸」を温かく送り出すことができました。壮行会を今後も毎年実施することで、調査捕鯨船団の基地化につなげていきたいと考えています。年度は鯨肉のさらなる普及啓発を目的として、低温熟成鯨肉(赤肉)のモニター販売事業を8月から開始しました。この製品は、零下5度前後で約1週間低温熟成加工した市場に出回る前の新製品で、従来の冷凍鯨肉と比較し、解凍時に肉汁が出にくく、うま味が閉じ込められ、大変おいしいものとなっています。「くじらのまち日本一」を目指す本市で、市の事業として消費拡大を目指して販売することとなりました。販売は、市内の(株)蟹屋(☎774-3778)で行っており、唐戸市場内の店舗の他、電話、ファクス、市ホームページからも購入できます。値段は1パック(250g)660円(税込)。ぜひおいしい鯨肉を味わってください。

7 月25日に、下関くじらフェスティバルの一環として、第20次北西太平洋鯨類捕獲調査船団壮行会をあるかぼーと岸壁で開催しました。この壮行会は、捕鯨反対派による激しい妨害活動のため、平成19年度を最後に中止となった南極海鯨類捕獲調査船団合同出港式に代わり、平成23年度から下関市と下関くじら食文化を守る会が主催で実施してきました。3回目を迎えたあるかぼーとでの壮行会は、新たに調査捕鯨母船「日新丸」下関寄港誘致協議会も加わり、多くの市民と共に、目

●中尾市長の似顔絵は、市内貝光町在住の岡田邦弘さんの作品。

今後下関市では、「くじらのまち日本一」を掲げて、さまざまな取り組みを行っていきます。

中尾市長の似顔絵を募集しています。右上の似顔絵と同程度の比率で作成したものと、住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を、広報広聴課(〒750-8521市内南部町1番1号)へお寄せください。

しものせき ナビ vol.37

「歴史を歩く」

厳島神社の大太鼓 (1866年)



厳島神社(上新地町二丁目)にある大太鼓を知っていますか。この大太鼓は慶応2(1866)年、下関にやって来たのですが、それは四境戦争によるものでした。慶応元(1865)年、幕府は恭順の姿勢を見せない長州藩に対し、征長軍を派遣。翌年6月、大島(山口県大島郡)・芸州(広島県・石州(島根県)・小倉(福岡県)の四境で戦いの火ぶたが切られました。これが四境戦争です。このうち小倉口の戦い(小倉戦争)は、約2万の幕府軍に対し、長州側は奇兵隊を

含む約1千の兵で応戦。長州軍は奮戦し、その侵攻を防ぎました。その後、將軍家茂の病死もあり幕府軍は撤退、運をも味方に付けた長州藩は、事実上の勝利を収めたのでした。

そして、戦勝祈願を行った厳島神社に、高杉晋作が小倉戦争の戦利品として奉納したのが、小倉城の時を知らせていたこの大太鼓だったので。大太鼓からは、幕府の大軍に立ち向かった長州軍の気概が今なおしのべられます。

●下関市年表販売中!
販売価格 3000円
問広報広聴課(☎2312951)

